

主な論点項目（案）

1. 目的

- 1. 1 適正な会計監査の確保
- 1. 2 監査人による適正な職業的懐疑心の発揮、高い職業倫理・独立性の保持による会計監査の品質・信頼性の確保
- 1. 3 開放的な文化の保持
- 1. 4 リーダーシップの発揮(トップの姿勢)
- 1. 5 行動規範の策定
- 1. 6 非監査業務との関係

2. 執行及びガバナンス機関

- 2. 1 実効的な執行機関の確立
- 2. 2 執行機関に求められる役割
- 2. 3 執行機関に求められる経験
- 2. 4 経営責任者を含む各執行機関・ガバナンス機関の権限、責任等の明確化
- 2. 5 監査法人と個々のパートナーの意思決定の関係
- 2. 6 監査法人の運営に対する外部の第三者の関与
- 2. 7 外部の第三者メンバーに対する適切な情報提供、サポート

3. 業務運営

3. 1 適正な会計監査を実施するための人材育成等の方針

3. 2 ステークホルダーとの対話

3. 3 外部によるレビューにおける指摘への対応

3. 4 法令遵守、監査業務の実施等

3. 5 通報制度

3. 6 IT等の活用

4. 説明責任

4. 1 監査法人の業務・マネジメントに関する情報の開示

4. 2 各コードの遵守状況の開示

4. 3 監査法人の開示情報の質を担保するための措置の実施・公表

4. 4 経営方針、経営上のリスク等の把握・開示

5. その他

その他、コード策定に当たり、留意しておくべき項目